# 一般社団法人 電気学会

# 平成30年度 事業計画

(自平成 30 年 4 月 1 日~至平成 31 年 3 月 31 日)

#### まえがき

政府は再生を重点政策にかかげ、経済の好循環が着実に 廻りはじめているが、消費や投資の動きはいまだ力強さを 欠くとしている。電力関連分野への東日本大震災の影響は 大きく、電気学会を取り巻く事業環境は長期にわたり厳し さを余儀なくされている。

その一方で、電気工学が支える電気システムが現代社会の最重要基盤であることは、震災時の経験からも明らかであり、今後さらに電気工学の担い手である個人・法人によって構成される電気学会が、社会や会員にとって必要不可欠な存在であり続けるよう、会員メリットを向上させつつ、安心安全で豊かな社会の実現に貢献する必要がある。電気学会は、行動目標および重点的に行うべき4つの活動を、グランドデザインとして定め、これらに基づき個別のアクションプランの検討・実施を進めてゆくこととしている。

エネルギーシステム改革は急速に進展しており,持続可能なエネルギー環境の実現に向けて,スマートコミュニティや,インフラシステムの整備など,第5期科学技術基本計画に包含されるきわめて広範囲な分野で,電気工学関連分野の貢献と先導的かつ積極的な展開が期待されている。

学会は高度な専門家集団として、論文誌、国際会議等を通じてよりグローバルな情報発信力を高めていくとともに、平成29年度は会長スローガンとして「部門横断で未

来のスマート社会を!」を掲げ、学術活動マッピングや新たな取り組みの可能性の検討を進めてきた。創立 130 周年を迎える本年度は、これまでの活動を深化・発展させ、電気学会が「広く社会に開かれたイノベーションのプラットフォーム」の役割を果たしていけるよう条件整備を進める。

これにより、様々な技術分野の融合を図り、学術界と産業界を繋ぐオープンな交流をさらに深め、グローバルスタンダードを見据えた社会の発展への貢献を担うべきと考えられる。

また、電気工学の将来を担う若手中堅会員の想いを学会 運営に反映する仕組みを取り入れ、電気学会がより活性化 することを目指すこととする。

# 電気学会グランドデザイン

【行動目標】「会員に魅力ある場を提供する」

「豊かで安心安全な社会, 持続的発展が可能 な社会の実現に貢献する」

## 【重点的に行うべき4つの活動】

「電気学術の発展と国際化への貢献」 「科学技術を担う多様な人材の創出,育成,活躍の促進」

「標準化・規格化による戦略的活動と提言」 「社会への情報発信と認知(プレゼンス)の 向上」

# 1. 会員に関する事項【定款第3章】

- (1) 平成30年度の会員数は、下表のように想定する。
- (2) 会員制度の充実と会員増加策

継続して個人会員・事業維持員の会員増員・退会防止策 を展開する。

項目	種別	名誉員 正 員	准員	学生員	計	事業維持員
29 年 度 末 会	員 数	18,101	262	2,618	20,981	398社 (2,379口)
入 会 · 復 会	予 定	931	7	1,444	2,382	5社(5口)
資 格 変	更	972	62	-903	131	
退会予	測	-2,008	-121	-409	-2,538	-16社(-17口)
増	減	-105	-52	132	- 25	-11 社 ( -12 口)
30年度末会員数	(推定)	17,996	210	2,750	20,956	387社 (2,367口)

# 2. 役員等に関する事項【定款第3,5章】

アンダーラインで平成30年度改選された方を示す。

(1) 平成30年度本部役員

理 事:山口 博(関東電気保安協会)

同 : 中川聡子(東京都市大学)

同 : 斎藤英揮 (東芝エネルギーシステムズ)

同 : 伊藤久徳(中部電力)

同 : 小野 靖 (東京大学)

同 :大熊康浩(富士電機)

同 : 今井伸一(東京電力パワーグリッド)

同 :清治岳彦(日立製作所)

同 :松本 聡(芝浦工業大学)

同 : 芹澤善積(電力中央研究所)

専務理事:酒井祐之(電気学会)

部門担当理事(A 部門): <u>西川宏之(芝浦工業大学)</u>

部門担当理事(B部門): <u>吉村健司(電力中央研究所)</u>

部門担当理事(C部門): 神保泰彦(東京大学)

部門担当理事 (D部門): 川上紀子(東芝三菱電機産業システム)

部門担当理事(E部門): 前中一介(兵庫県立大学)

支部担当理事(北海道): 藤井 裕(北海道電力)

支部担当理事(東北):吉澤 誠(東北大学)

支部担当理事(東京): 岡本 浩(東京電力パワーグリッド)

支部担当理事(東海): 豊田浩孝(名古屋大学)

支部担当理事(北陸):田岡久雄(福井大学)

支部担当理事(関西):田所通博(三菱電機)

支部担当理事(中国): 平木英治(岡山大学)

支部担当理事 (四国): 皆本佳計(新居浜工業高等専門学校)

支部担当理事(九州):山科秀之(九州電力)

監事:島田道宏(古河電気工業)

同 : 勝野 徹(富士電機)

## (2) 平成30年度部門役員

A部門

部 門 長:西川宏之(芝浦工業大学)

編 修 長:永田正義(兵庫県立大学)

副部門長:中川活二(日本大学)

同:武藤浩隆(三菱電機) 総務企画担当:保科好一(東 芝)

同 :山城啓輔(富士電機)

会計担当:楠川順平(日立製作所)

同 :藏田保幸(明電舎)

編修担当:前山光明(埼玉大学)

同 : 小田昭紀(千葉工業大学)

研究調査担当:加藤景三(新潟大学)

同 : 髙橋俊裕(電力中央研究所)

監 事:匹田政幸(九州工業大学)

同 : 髙木浩一(岩手大学)

B部門

部 門 長: 吉村健司 (電力中央研究所)

副部門長:岩尾 徹(東京都市大学)

同 : 蘆立修一(東京電力ホールディングス)

総務企画担当:河村憲一(日立製作所)

同 : 南 裕二 (東芝エネルギーシステムズ)

会計担当:伊東進治(三菱電機)

同 : 箱田 清(中部電力)

編修担当:本山英器(電力中央研究所)

同 :澤 敏之(日立製作所)

研究調查担当:野川方生(富士電機)

同 : 髙尾智明(上智大学)

広報·国際化担当:大髙晋子(明電舎)

同 : 二田丈之(電源開発)

監事:戸部祐治(関西電力)

同 :進士營夫(電力広域的運営推進機関)

C部門

部 門 長:神保泰彦(東京大学)

副部門長:玉置 久(神戸大学)

同 : 中島慶人(電力中央研究所)

総務企画担当:福本 恭(日立製作所)

同 : 山下育男(関西電力)

会計担当: 倉木健介(富士通研究所)

同 : 平野隆志(日本電気)

編修担当: 庄野和宏(筑波大学) 同: 玉田隆史(三菱電機)

研究調査担当:山口順一(香川大学)

同 : 中谷博司 (東 芝)

広報·情報化担当:高井伸和(群馬大学)

同 :藤原伸行(明電舎)

国際化担当:八木 透(東京工業大学)

同 :遊佐博幸(電力中央研究所)

監 事:ニコデムスレディアン(芝浦工業大学)

同 :松井哲郎(富士電機)

D部門

部 門 長:川上紀子(東芝三菱電機産業システム)

和文論文誌編修長:村上俊之(慶應義塾大学)

英文論文誌編修長:大石 潔(長岡技術科学大学)

副部門長:柴田昌明(成蹊大学)

同 : 水谷良治(古河電気工業)

総務企画担当:小坂 卓(名古屋工業大学)

同 :南方英明(千葉工業大学)

会計担当:大山和伸(ダイキン工業)

同 : <u>榎本裕治(日立製作所)</u>

編修担当:林屋 均(東日本旅客鉄道)

同 : 伊東淳一(長岡技術科学大学)

研究調査担当:藤本博志(東京大学)

同 : 浦壁隆浩 (三菱電機)

国際担当委員長: 玉井伸三(東芝三菱電機産業システム)

国際担当副委員長:赤津 観(芝浦工業大学)

監事:松本康(富士電機)

同 : <u>廣瀬圭一(NTT ファシリティーズ)</u>

E部門

部門長:前中一介(兵庫県立大学)

副部門長:年吉 洋(東京大学)

同 : 小野崇人(東北大学)

総務企画担当:寒川雅之(新潟大学)

同 :藤田孝之(兵庫県立大学)

会計担当:米田雅之(アズビル)

同 : 戸津健太郎(東北大学)

編修担当:神田岳文(岡山大学)

同 :峯田 貴(山形大学)

研究調査担当:林 健司(九州大学)

同 :角田正也(シスメックス)

監事:太田淳(奈良先端科学技術大学院大学)

同 : 小西 聡 (立命館大学)\_

(3) 平成30年度支部役員

△印は支所長を示す

北海道支部

支部長:<u>藤井裕(北海道電力)</u>総務企画幹事:野口 聡(北海道大学)

同 : 草野 崇 (北海道電力) 会計幹事: 小林孝一 (北海道大学)

同:<u>菅原吉隆(北海道電力)</u>

協議員:折川幸司(北海道大学)同:片山幸一(北海道電力)

同 : 高橋理音(北見工業大学) 同 : 富田一臣(新日鐵住金)

同 : <u>青柳 学(室蘭工業大学)</u>

同 : 井口 傑 (旭川工業高等専門学校)

同 : 一戸昌則 (北海道科学大学)

同 : 鈴木恵二 (公立はこだて未来大学)

同 : 土田徳造(北海道旅客鉄道)

同 : 三島裕樹 (函館工業高等専門学校)

監 事:矢神雅規(北海道科学大学)

東北支部

支部長:<u>吉澤誠(東北大学)</u> 総務企画幹事:松本光裕(東北電力)

同 : <u>高橋和貴 (東北大学)</u> 会計幹事: 田倉哲也 (東北工業大学)

同 : 堀越和宏 (東北電力)

協 議 員:佐藤文博(東北学院大学)

同 : △田島克文(秋田大学)

同 :成田瑞秋 (ユアテック) 同 :西郡幸春 (東日本旅客鉄道)

同 : △花田一磨 (八戸工業大学)

同 : △南谷靖史(山形大学) 同 : 泉田 融(東北電力)

同 : 岩井克全(仙台高等専門学校)

同 : △菊池弘昭(岩手大学)同 : △高梨宏之(日本大学)同 : 田倉哲也(東北工業大学)

同 : <u>中村健二 (東北大学)</u>同 : 春浪隆夫 (東北電力)

監事:家名田敏昭(東北文化学園大学)

東京支部

支 部 長:岡本 浩(東京電力パワーグリッド)

総務企画幹事:後藤田信広(日立製作所)

同 :<u>濱田 浩(東京電力ホールディングス)</u>

会計幹事:黒瀬 健(三菱電機)

同 : 市川路晴(電力中央研究所)

協議員:赤塚洋(東京工業大学)

同 : 岡田有功(電力中央研究所)

同 : △岡本 保(木更津工業高等専門学校)

同 :金山哲也 (明電舎) 同 :△金子裕良 (埼玉大学)

同 : 木村英和(日本電気)

同 : 黒川 悟 (産業技術総合研究所)

同 : 佐伯憲一(新日鐵住金) 同 : 下野誠通(横浜国立大学) 同 : △新保一成(新潟大学)

同 : △高野明夫 (沼津工業高等専門学校)

同 : △土井達也(足利大学)

同 : 樋田直樹 (東京電力パワーグリッド)

同 :野呂康宏(工学院大学)

同 : 平栗滋人(鉄道総合技術研究所)

同 : 星 伸一(東京理科大学)同 : △矢野浩司(山梨大学)同 : △米田征司(神奈川大学)

同 : 和田和千 (明治大学) 同 : 岩尾 徹 (東京都市大学)

同 : <u>大木義路(早稲田大学)</u> 同 : <u>岡田弘志(日立製作所)</u>

同 : 書上 進(電源開発)

同 : 桂誠一郎 (慶應義塾大学)

同 : 桑畑周司 (東海大学)
同 : 腰塚 正 (東京電機大学)

同 : <u>西野 宏 (フジクラ)</u> 同 : <u>△橋本誠司 (群馬大学)</u>

: 馬場旬平(東京大学)

同 : 羽深俊一 (東芝エネルギーシステムズ)

同 :深津尚明(東京電力ホールディングス)

同 : <u>堀井博夫(日立製作所)</u>
 同 : <u>望月哲夫(三菱電機)</u>
 同 : <u>△柳平丈志(茨城大学)</u>
 同 : <u>王 喜宏(富士電機)</u>

監事:市野澤昌弘(日立製作所) 同:提富士雄(電力中央研究所)

東海支部

百

支部長:豊田浩孝(名古屋大学) 総務企画幹事:中村光宏(中部電力)

同 : 山本真義(名古屋大学) 会計幹事: 鳥井昭宏(愛知工業大学) 同 : 北川 亘(名古屋工業大学)

協 議 員:有賀信雄(シンフォニアテクノロジー)

同 : 石子雅康(豊田中央研究所)

同 : 金子 靖 (三菱電機)

同 : 小坂 卓 (名古屋工業大学)

同 : 坂上泰久(中部電力)同 : 曽根原誠(信州大学)

: 谷 恵亮 (デンソー) 司 司 :中村雅憲(中部大学) : 村本裕二(名城大学) 百 : 雪田和人(愛知工業大学) 同 口 : 米澤裕之(富士電機) 司 : 王 道洪(岐阜大学) : 酒井啓資(日本ガイシ) 百 : 鈴木聖二 (愛知電機) 同 : 高木康夫(大同大学) 司 : 長尾伸二 (東芝産業機器システム) : 光本真一(豊田工業高等専門学校) 同 同 : 横水康伸(名古屋大学) 監事: 穂積直裕(豊橋技術科学大学) 北陸支部 支 部 長:田岡久雄(福井大学) 総務企画幹事:西田好宏(福井工業大学) 同 :朝倉 茂(北陸電力) 会計幹事:金尾則一(北陸電力) 同 : 上町俊幸 (石川工業高等専門学校) 協議員:小出明(富山大学) 同 : 立花潤三 (富山県立大学) : 中尾一成(福井工業大学) : 藤田洋司(金沢工業大学) 口 口 : 山田俊明(北陸電力) 百 : 米澤出穗(関西電力) : 字野敦司(北陸電力) 百 : 柿川真紀子(金沢大学) 百 口 : 髙野浩貴(岐阜大学) 司 : 寺島 訓(北陸電機製造) : 直江伸至(国際高等専門学校) 百 : 西島健一(富山高等専門学校) : 松浦晃祐(福井工業高等専門学校) 監事:石島達夫(金沢大学) 関西支部 支 部 長:田所通博(三菱電機) 総務企画幹事:坂口恭生(住友電気工業) 同 :皆川忠郎(三菱電機)

総務企画幹事・吸口添生(住及電気 同 : <u>皆川忠郎(三菱電機)</u> 会計幹事:藤原耕二(同志社大学) 同 : <u>浅利一成(関西電力)</u> 協議員:岩田竜祐(ダイヘン)

同 : 小田 昇 (関西鉄道協会) 同 : 河﨑吉則 (日新電機)

同 : 佐々木一臣(西日本旅客鉄道)

同 : 高野泰洋(神戸大学) 同 : 高間康弘(関西電力) 同 : 高山聡志(大阪府立大学) 同 : 田中 拓(日立製作所)

同 :早川 潔(大阪府立大学工業高等専門学校)

同 :前川卓也(大阪大学)

同 : 米津大吾 (関西大学)
同 : 上田晃司 (三菱電機)
同 : 柿ヶ野浩明 (立命館大学)
同 : 菊池祐介 (兵庫県立大学)
同 : 瀬越忠男 (パナソニック)
同 : 辻田勝吉 (大阪工業大学)
同 : 支舩 健 (京都大学)
同 : 山崎直哉 (住友電気工業)
同 : 吉田周平 (近畿大学)
東:生星知姓 (大阪工学)

監事:牛尾知雄(大阪大学) 同:濱田昌司(関西大学)

中国支部

支 部 長:<u>平木英治(岡山大学)</u> 総務企画幹事:平木英治(岡山大学)

同 : 七戸 希 (岡山大学)
会計幹事: 間屋口信博 (中電工)
同 : 小野 進 (中国電力)
協 議 員: 堺 健司 (岡山大学)
同 : 中田俊司 (近畿大学)
同 : 丸谷祐司 (JFE スチール)

同 : 吉田義昭 (広島工業大学) 同 : 麻原寛之 (岡山理科大学)

同 : 今尾浩也(松江工業高等専門学校)

 同
 : 大木 誠 (鳥取大学)

 同
 : 重國知之 (東ソー)

 同
 : 寺西雄二 (中国電機製造)

 同
 : 中本昌由 (広島大学)

同 : <u>日髙良和 (宇部工業高等専門学校)</u> 監 事: 岡村幸壽 (中電技術コンサルタント)

四国支部

支 部 長:皆本佳計(新居浜工業高等専門学校)

総務企画幹事:山口堅三(香川大学)

同 :加藤克巳(新居浜工業高等専門学校)

会計幹事:平尾正幸(四国計測工業)

協 議 員:今井慈郎(香川大学)

同 : 横山隆志 (新居浜工業高等専門学校)

同 : 中内 誠 (四国電力)同 : 八田章光 (高知工科大学)同 : 松木寿夫 (三菱電機)同 : 安野 卓 (徳島大学)同 : 弓達新治 (愛媛大学)

同 :漆原史朗(香川高等専門学校)

 同
 : 尾崎良太郎(愛媛大学)

 同
 : 加藤直亮(住友共同電力)

 同
 : 萱 史夫(四国総合研究所)

同 : <u>北條昌秀(徳島大学)</u> 監 事:門脇一則(愛媛大学)

九州支部

支 部 長:山科秀之(九州電力)

総務企画幹事:吉田 敬(九州大学)

同 : 小迫雅裕(九州工業大学)\_

会計幹事:藤瀬伸浩(九州電力)

同 : 中村幸志郎(九州電力)

協 議 員:青木振一(崇城大学)

同 : 甲斐祐一郎(鹿児島大学)

同 :川崎敏之(西日本工業大学)

同 : 江田孝治(福岡大学)

同 : 迫田達也(宮崎大学)

同 : 白濱秀文(福岡工業大学)

同 : 千住智信(琉球大学)

同 : 久恒正希(安川電機)

同 :松本 聡(九州工業大学)

同 :緑川洋一(大分大学)

同 : 今坂公宣(九州産業大学)

同 : △浦崎直光(琉球大学)

同 :清武博文(大分工業高等専門学校)

同 : 多久征吾 (東芝三菱電機産業システム)

同 :田邉 隆(三菱重工業)

同 : 土橋正武(新日鐵住金)

同 : 浜崎真一(長崎大学)

同 : 原 重臣(佐賀大学)

同 : 光木文秋 (熊本大学)

同 : 村田純一(九州大学)

同 : 李 義頡(早稲田大学)

監事:髙崎真司(九州電力)

# (4) 平成 30 年度代議員 (93 名)

任期は平成30年2月28日~2年後に実施される代議 員選挙終了の時まで

朝倉 茂(北陸電力)

安部 隆(新潟大学)

五十嵐一(北海道大学)

石亀篤司 (大阪府立大学)

伊藤久徳(中部電力)

井堀春生 (愛媛大学)

今井伸一 (東京電力パワーグリッド)

江口直也 (富士電機)

大川剛直(神戸大学)

大久保昌利 (関西電力)

大熊康浩 (富士電機)

大崎博之 (東京大学)

大西公平 (慶應義塾大学)

大橋剛介 (静岡大学)

大山和伸 (ダイキン工業)

大山 力(横浜国立大学)

岡本 浩 (東京電力パワーグリッド)

尾﨑雅則 (大阪大学)

小野 靖(東京大学)

加来昌典(宮崎大学)

勝野 徹(富士電機)

金岡伸治 (四国電力)

河村篤男 (横浜国立大学)

上町俊幸 (石川工業高等専門学校)

金 錫範(岡山大学)

久保川淳司 (広島工業大学)

栗原郁夫 (電力中央研究所)

黒瀬 健(三菱電機)

小島 崇(豊田中央研究所)

斎藤英揮 (東芝エネルギーシステムズ)

酒井祐之 (電気学会)

柵山正樹 (三菱電機)

佐藤育子 (東京電力エナジーパートナー)

佐藤孝紀(室蘭工業大学)

佐藤 充(中部電力)

塩原亮一(日立製作所)

柴田正史(日立製作所)

島田敏彦(東京電力パワーグリッド)

島田道宏(古河電気工業)

清水敏久(首都大学東京)

庄子習一(早稲田大学)

白井康之 (京都大学)

新藤孝敏 (電力中央研究所)

神保泰彦 (東京大学)

芹澤善積 (電力中央研究所)

曽根光男 (東海大学)

田岡久雄(福井大学)

高橋和貴 (東北大学)

田倉哲也(東北工業大学)

竹島尚弘 (関西電力)

田所通博 (三菱電機)

田中幸二(日立製作所)

田邉 隆(三菱重工業)

田畑 修(京都大学)

玉井伸三 (東芝三菱電機産業システム)

玉置 久(神戸大学)

堤富士雄 (電力中央研究所)

寺井清寿 (東芝インフラシステムズ)

寺尾京平(香川大学)

寺地 進(東京電力ホールディングス)

戸高 孝(大分大学)

豊田浩孝 (名古屋大学)

中川聡子 (東京都市大学)

中本高道(東京工業大学)

中本哲哉 (東芝エネルギーシステムズ)

浪平隆男 (熊本大学)

西川宏之(芝浦工業大学)

西田直人 (東芝)

白銀隆之 (関西電力)

橋本雄一 (大同大学)

長谷川隆章(住友電気工業)

日高邦彦 (東京大学)

日髙良和(宇部工業高等専門学校)

平木英治 (岡山大学)

蛭間淳之 (デンソー)

福井伸太 (東洋大学)

福永 香(情報通信研究機構)

藤島友之(長崎大学)

堀越和宏 (東北電力)

松本 聡(芝浦工業大学)

松本光裕(東北電力)

三上貞芳 (公立はこだて未来大学)

水野幸男 (名古屋工業大学)

皆川忠郎 (三菱電機)

孟 志奇(福岡大学)

森 一之 (三菱電機)

安田恵一郎(首都大学東京)

矢野 徹 (三菱電機)

山口 博(関東電気保安協会)

山本直幸(日立製作所)

山本真義 (名古屋大学)

横山明彦 (東京大学)

吉村健司 (電力中央研究所)

(5) 平成30年度有識者会議委員(69名)

本部代表:生駒昌夫(きんでん)

同 : 市川弥生次(中部電力)

井上満夫(三菱電機)

江口直也 (富士電機)

大久保昌利 (関西電力)

大崎博之 (東京大学)

大西公平(慶應義塾大学) 大山 力(横浜国立大学)

小橋秀一 (三菱電機)

柵山正樹 (三菱電機)

佐藤育子(東京電力エナジーパートナー)

新藤孝敏 (電力中央研究所)

竹下隆晴(名古屋工業大学)

田中幸二(日立製作所)

中本哲哉(東 芝)

西田直人(東 芝)

白銀隆之 (関西電力)

日髙邦彦(東京大学)

福井伸太 (東洋大学)

安田恵一郎(首都大学東京)

山本直幸(日立製作所)

横山明彦 (東京大学)

部門代表:大山和伸(ダイキン工業)

同 :清水敏久(首都大学東京)

鈴木博章 (筑波大学)

芹澤善積 (電力中央研究所)

田畑 修 (京都大学)

寺井清寿 (東芝)

〈福井伸太(東洋大学)〉※

福永 香(情報通信研究機構)

三谷康範 (九州工業大学)

宮崎道雄(関東学院大学)

支部代表: 五十嵐一(北海道大学)

同 :〈大崎博之(東京大学)〉※

小笠原悟司 (北海道大学)

下村直行 (徳島大学)

白井康之(京都大学)

田苗 博(東北電力)

田中俊彦(山口大学)

田中康規(金沢大学)

長谷川俊行(北陸電気保安協会)

服部哲郎 (香川大学)

林 則行(宮崎大学)

匹田政幸 (九州工業大学)

福島 透(中国電力)

松浦昌則 (中部電力)

松木英敏 (東北大学)

松村年郎 (愛知工業大学)

三浦良隆(関電システムソリューションズ)

横田岳志(東芝トランスポートエンジニアリング)

事業維持員代表:礒嶋茂樹(住友電気工業)

同 : 伊藤泰之(三菱電機)

岡本 浩 (東京電力ホールディングス)

清治岳彦(日立製作所)

山田利之(東北電力)

伊藤孝充 (明電舎)

土井義宏 (関西電力)

〈松浦昌則(中部電力)〉※

松村基史(富士電機)

斎藤英揮 (東芝エネルギーシステムズ)

向山晋一(古河電気工業)

山﨑 尚(九州電力)

役 員:伊藤久徳(中部電力)

同 : 今井伸一(東京電力パワーグリッド)

大熊康浩 (富士電機)

小野 靖(東京大学)

勝野 徹(富士電機)

〈斎藤英揮(東芝エネルギーシステムズ)〉※

酒井祐之 (電気学会)

島田道宏(古河電気工業)

〈清治岳彦(日立製作所)〉※

〈芹澤善積 (電力中央研究所)〉※ 中川聡子 (東京都市大学) 松本 聡 (芝浦工業大学) 山口 博 (東京電力ホールディングス)

重複者は〈氏名〉※ と記載

# 3. 会議等に関する事項【定款第4,6章】

会議・委員会等を以下のとおり開催する。

(1) 通常総会

平成30年5月31日(木)に第106回通常総会を都市 センターホテルにて開催予定。

(2) 理事会

年度内に6回開催予定。

(3) 各種会議・委員会等

各会議体・委員会は各事業体の事業計画に基づいて必要に応じ開催し、主要会議等は下記の回数を予定する。

有識者会議:1回 経営戦略会議:適宜

経営企画委員会:10回(幹事会5回を含む) 新進会員活動委員会:7回(幹事会含む)

○総務企画関連

総務会議:5回

技術者教育委員会(部会等含む):30回

広報委員会:3回

IEEJ プロフェッショナル運営委員会:2回

倫理委員会(幹事会, WG 含む):13 回

表彰委員会:2回

顕彰委員会(小委員会含む):8回

○財務会計関連

会計会議:5回

○編修出版関連

編修会議:4回

編修委員会(部会を含む):27回 出版事業委員会(部会を含む):9回

○研究調査関連

研究調査会議: 4回

全国大会委員会(小委員会含む):4回

国際活動委員会:3回

電気規格調査会: 7. に記載する。

○部門関連

部門役員会

A部門:5回, B部門:5回, C部門:5回,

D部門:5回, E部門:5回

○支部関連

支部報告会:適宜 支部役員会:適宜

# 4. 研究発表会・講演会・講習会および見学会の開催に関する事項【定款第4条1号】

### (1) 全国大会の充実

企画内容の充実とサービス向上をはかり講演者、聴講 者の増加を目指す。

2019 年 3 月 12 日  $\sim$  14 日 北海道科学大学にて開催予定。

#### (2) 総合力を発揮した支部活動

本部・部門と連携しつつ地域に密着した活動を展開し、技術交流や技術研鑽の場の提供を通じ会員サービスに努め、あわせて会員増加を図る。また、これらの活動においては IEEJ プロフェッショナルの協力を得る。支部における講演会、講習会、見学会などの開催計画は下表のとおりである。

支部	_	_		北海道	東北	東京	東海	北陸	関西	中国	四国	九州	計
支部通	車合:	大会	等	1	1	1	1	1	1	1	2	1	10
én.	講	演	会	1	0	22	1	6	18	1	0	1	50
一般	講	習	会	2	0	1	0	0	1	3	5	0	12
[PJV)	見	学	会	1	1	12	2	1	2	0	0	1	20
中田中	講	演	会	8	29	4	8	1	1	12	5	10	78
専門家	講	習	会	1	0	5	2	1	4	2	2	1	18
[PJV)	見	学	会	1	0	9	2	0	1	3	4	2	22
発 表	会	関	係	1	1	10	2	2	1	1	1	3	22
そ	の		他	0	7	20	16	3	9	6	1	5	67
	計			16	39	84	34	15	38	29	20	24	299

# (3) 総合力を発揮した部門活動

本部・支部と連携しつつ各部門の特徴やコア技術を生かしつつ,新規分野の取り込みや他部門他学協会との連携などの将来展開を考慮して活力ある活動を展開する。 部門大会等の開催計画は次表のとおりである。

大会名	開催場所	開催日
A 部門大会	イーグレひめじ(兵庫)	2018.9. 4~ 5
B部門大会	徳島大学 (徳島)	2018.9.12 ~ 14
C部門大会	北海道大学 (北海道)	2018.9. 5 ~ 8
D 部門大会	横浜国立大学(神奈川)	2018.8.28 ~ 30
E 部門大会 (「セ ンサ・マイクロ マシンと応用シ ステム」シンポ ジウム)	札幌市民交流プラザ (北海道)	2018.10.30 ~ 11.1

### 5. 会誌および図書の発行に関する事項【定款第4条2号】

(1) 電気学会誌・論文誌の更なる充実

学会誌は、広範囲な分野から分かりやすく読みやすい 記事の企画・掲載に努める。また、気軽に読める記事 「コーヒーブレイク」を引き続き掲載する。

新電子投稿・査読システムの安定的な運用に努め, 論文の査読期間の短縮を図る。投稿論文に対して剽窃 チェックを実施する。

(2) 世界に向けて情報発信する体制の構築

共通英文論文誌(TEEE)の毎月発行に伴うページ数増加により論文掲載までの期間短縮を図る。また、イン

パクトファクターの向上を目指して、著名な方の執筆による解説論文を掲載するなど、効果が期待される方策を推進していく。また、D部門英文論文誌のSCI登録申請に向けて、引き続き有効な方策を検討・実施していく。

(3) 会誌の発行計画は以下のとおり。

# (a) 学会誌

発行同数:12 回

年間発行ページ数:948ページ(含広告)

発行部数:約25.2万部/年

掲載記事の企画は編修委員会で検討する。

(b) 論文誌(部門誌)

発行回数:12回/部門

ページ数は以下のとおり。D部門は英文論文誌 D (年6回発行)を含む

	A 部門	B部門	C 部門	D部門	E部門	合計
ページ数	812	1,050	2,200	1,650	600	6,312

# (c) 共通英文論文誌

発行回数:12回

ページ数:約1,560ページ

(4) 時代の動向や社会のニーズをとらえた出版推進

教科書の分量・内容・価格など教育現場に即した企画・出版を行い、採用増加を図る。

教科書・専門書・啓発書で新刊 4 点の出版を目標とする。

- (5) 教科書等の発行計画は以下のとおり。
  - (a) 教科書·専門書·技術啓発書·技術報告単行本

種別	教科書・専門書			技術啓発書			合計		
	新刊	重版	計	新刊	重版	計	新刊	重版	計
発行点数	3	24	27	1	0	1	4	24	28
発行部数	4,800	17,650	22,450	1,400	0	1,400	6,200	17,650	23,850

# (b) 技術報告新刊

	A 部門	B部門	C部門	D部門	E部門	合計
発行点数	6	7	6	4	0	23
発 行 部 数	1,000	1,800	300	1,000	0	4,100

# 6. 調査・研究の実施に関する事項【定款第4条3号】

# (1) 活動範囲の拡大

「電気システムセキュリティ特別技術委員会」を中心として, 更に下部組織として特別調査専門委員会を組織し, 部門横断的な分野についての調査活動を積極的に行いつつ、適宜、成果報告を公開する。

(2) 災害に強い豊かな日本実現への貢献 電気技術を軸足に置き他学会との連携も強めながら、 災害に強い豊かな日本の実現に向けた施策を検討する。

# (3) 学術情報システムの円滑な運営と拡大

現在、国立情報学研究所(NII)が運営する情報学ひろばに収蔵中の研究会資料・大会論文ともに国際会議論文の収蔵も積極的に進める。

# (4) 研究調査活動のための委員会活動は以下のとおり。

### (a) 各種委員会

	A 部門	B部門	C部門	D部門	E部門	合計
運営委員会	5	4	5	4	5	23
技術委員会	42	41	46	58	12	199
専門委員会	77	119	180	150	20	546
研究会	60	25	60	57	15	217
合計	184	189	291	269	52	985

#### (b) 新設委員会

	A 部門	B部門	C部門	D部門	E部門	合計
技術委員会	0	0	0	0	0	0
専門委員会	7	8	23	7	2	47
合計	7	8	23	7	2	47

### (c) 解散委員会

	A 部門	B部門	C部門	D部門	E部門	合計
技術委員会	0	0	0	0	0	0
専門委員会	7	11	19	8	3	48
合計	7	11	19	8	3	48

# (d) 研究会発表論文件数

部	門	A 部門	B部門	C部門	D部門	E部門	合計
件	数	1,010	700	600	900	210	3,420

# 7. 標準の制定に関する事項【定款第4条3号】

電気機械器具及び材料などの標準化に関する事項を調査審議し、電気分野における標準化を通して、広く社会に貢献することを目的として、下記に重点を置き活動を推進する。

- 1. 電気規格調査会 (JEC) 規格の制定・改正及び普 ਲ
- 2. 国際電気標準会議 (IEC) 規格に係わる審議
- 3. 日本工業規格 (JIS) 原案の作成
- 4. 国内外の標準化機関との協力及び連携
- 5. 電気規格調査会功績賞及び功労賞の顕彰
- 6. IEC 関連の国際会議日本開催及び国際会議旅費支援
- 7. IEC 規格に係る委託事業の推進

具体的な計画に関しては下記を予定する。

# (1) 委員会の開催数

会 議 名	開催数
規格委員会総会	1
規格役員会	6
標準化戦略委員会	6
表彰委員会	1
IEC 国際活動支援審査委員会	4
部会	20
標準化委員会·IEC 国内委員会	200
JIS 原案作成委員会	30
合 計	268

# (2) 標準規格の普及推進

JEC 規格の制定・改正に合わせた JEC 規格の講習会 開催、情報公開等による JEC 規格販売促進を継続実施 していく。あわせて、電気用語集 Web 化に取り組む。

(3) 国際標準規格の開発推進

国内外標準化機関との協力及び連携をはかり、スマートグリッド・UHV 関連技術をはじめとし、日本発の規格の国際標準化提案活動を引き続き推進する。また、IEC 規格に係る委託事業を積極的に推進する。

(4) 事業維持員ほかへの広報の推進

標準規格の制定・改正に参画された委員への感謝状の 贈呈や事業維持員へのお礼状の発行などを実施する。さ らに、JEC 功績賞・功労賞表彰式等の学会誌以外のマス メディアでの掲載を働きかける。

# 8. 功績の表彰に関する事項【定款第4条4号】

- (1) 電気技術顕彰制度「でんきの礎」の発展 「でんきの礎」の第12回顕彰を実施する。全国大会で の授与式を継続開催し更なる周知拡大を図る。
- (2) 名誉員の推薦・フェローの充実 名誉員資格条件を満たす者を、名誉員として推薦す る。

また、フェローの認定を継続し拡大を図る。

(3) 表彰

功績賞1件,業績賞6件および電気学術振興賞(進歩賞:9件,論文賞:9件,著作賞:1件),優秀技術活動賞(技術報告賞:9件,グループ著作賞:1件以内),特別活動賞:2件以内の表彰を行う。

- (4) 上級会員・IEEJ プロフェッショナルの認定 電気技術の専門家で電気学会の諸活動への貢献があ り、申請基準を満たす会員を、上級会員に認定する。 IEEJ プロフェッショナルの活動範囲の拡大に対応す べく認定者の増大を図る。
- (5) 電気規格調査会表彰 標準化活動への貢献者の表彰を行う。
- (6) 学術振興助成 大会ならびに研究会における優秀論文の表彰 賞A 部門大会・研究会の論文:80件 賞B 全国大会・支部大会の論文:120件
- (7) 学術奨励賞

高校・高専生の電気主任技術者試験合格者表彰制度の 周知拡大を図り、第8回表彰を実施する。

# 9. 教育に関する事項【定款第4条5号】

(1) 技術者教育の着実な推進と体制の整備 他団体(日本工学会 CPD 協議会,電気電子・情報系 CPD 協議会,日本技術士会等)と連携して CPD に関す る情報収集・意見交換を行い,会員に供する CPD 対象 プログラムの拡大を図る。

(2) JABEE 認定審査事業の着実な取り組み 3分野において着実に認定審査を実施する。また、 JABEE 審査員説明会の開催を検討する。 (3) IEEJ プロフェッショナル活動の拡大

高齢化社会にマッチしたシニアパワーの活躍による学会活動の活性化に向けて、IEEJプロフェッショナルの活動範囲の拡大、それら活動に対する支援の強化を検討する。

- (4) 技術者倫理教育に関する恒常的活動の推進 技術者倫理研修会やフォーラムの開催,技術者倫理事 例集の販売促進など,技術者倫理教育に対する支援を行 う。
- (5) 電気系の高等教育支援の推進 電気学会寄付講義を24校で開講する。
- (6) 若年層の理科・科学・技術離れへの対応 初等中等教育を主な対象とする教育支援資金の活用推 進を図る。

日本工学会の「科学技術人材育成コンソーシアム」に 積極的に参画し、初等中等教育支援などの活動推進を図 る。

(7) 一般の方々の電気技術に対する関心と理解を高める 次代を担う若者を含む一般の方々を読者想定して発行 された小冊子,「電気の知識を深めようシリーズ」を教 育に活用するための関連教材の整備,機会の開拓と体制 の整備を図る。

# 10. 国内外の関係学術団体との協力および連携に関する事項【定款第4条6号】

(1) 国際活動の積極的推進と国際活動が容易にできる仕組 みの構築

ICEE (電気技術国際会議) 2018 ソウル大会の開催 と, ICEE 国際ジャーナルの的確な発行を行う。

英文HPの充実と活用推進を図る。

国際的なステータス向上策の検討と海外学会等との連携方策の検討を行う。

(2) 広範な学会活動の推進

電気関連学会による電気・情報関連学会連絡協議会の 定例開催や、日本学術会議、日本工学会、日本機械学 会、日本技術士会との情報交換や懇談会など、関連団体 との協議の場を継続し、諸活動の協調・連携を図る。

(3) 国際交流助成

対象 外国学会との交流で海外の研究者・技術者を招 聘するための助成(最大10件)

> 海外で開催される国際会議出席者に対する補助 (最大20件)

> 海外で開催される電力技術に関する国際的会合の出席者への補助(最大4件)

助成総額 164.3 万円

- (4) 学術団体の講演会等の共催・協賛・後援
- (5) 各種団体の研究助成候補者の推薦

### 11. その他法人運営等に関する事項

### (1) 一般社団法人の的確な運営

平成24年度の一般社団法人へ移行後の定款および関連諸規定に基づく法人運営を的確かつ円滑に行う。

公益目的支出計画の継続事業を予算に基づき着実に実 行する事で、公益目的支出計画を推進する。

(2) グランドデザインのアクションプランの検討,実施理事会および経営企画委員会を中心に,グランドデザイン〜学会の行動目標と重点的に進める4つの活動〜を具体的に推進するためのアクションプランについて,学会の魅力向上・会員メリット向上と,中長期的財政基盤の改善を考慮して検討してゆく。

# (3) 新予算方式の導入

平成28年度から、各事業の目的・性格等の明確化および自律的改善の促進をめざした新予算方式を導入し、このなかで部門積立金制度、戦略的事業、社会貢献プレゼンス事業の指定と予算枠設定、会費の使途指定や配賦等の仕組みを設け、活動の活性化を図っている。

平成30年度も新予算方式の下で事業を行い、必要により随時改善を行ってゆくこととする。

### (4) 学会の収支改善に向けた検討

会員数確保,収支改善を進めるため,学会各組織から広く意見を伺った結果,論文や大会の価値を高めることが肝要であるとの考えに立ち,英文論文誌や国際会議の活性化を視野に入れ,これらの具体的方策について検討を進める。

# (5) 国際化活動についての方向性

平成28年度に会長提言として国際化活動についての方向性を提示し、次の国際化推進ビジョンについて全体合意した。即ち、電気学会は、高度な専門家集団として、よりグローバルな情報発信力とグローバルポジションを高め、社会への貢献を担うこと。英文論文誌の価値向上、国際会議の拡充の両輪で電気学会のグローバルポジション獲得(世界/アジアのCOE)を進めることである。

具体的には、共通英文論文誌のページ数制約撤廃と I F向上、D部門英文誌の SCI 登録、各部門の英文誌戦略の策定、および、国際会議開催に関するノウハウ情報共有、本部(ICEE)国際大会活動の活性化、国際会議に繋がる研究会の育成等を、関係会議体、経営企画委員会が取り纏めて推進する。

### (6) 国際会議の活性化

国際活動委員会は、ICEE 日本委員会と連携して ICEE をアジア中心の電気工学国際会議として活性化を 図るとともに、個別の研究会、WS 等による国際交流拡 大を推進する。また、各部門が主体的に開催している国 際会議についても、拡大を図るべく要望を踏まえたサポ ートを行う。

# (7) 新進会員活動委員会の活動

学会の将来を担う若手中堅会員の意見要望を事業に反映するため、経営企画委員会の下部に新進会員活動委員会を設け、会員メリット向上、情報発信の強化を軸にした提案を行う。

具体的には、SNS を活用した学会情報発信、学会 HP のモバイル対応も含めた使い勝手向上等に関する具体的な提案を受け、関連の委員会が連動して改善を進める。

# (8) 部門横断の学術活動マッピング活動

平成29年度の会長スローガン「部門横断で未来のスマート社会を!」の実現,具体化に向けて取り組みを継続する。

平成29年度は、本部・部門が連携してソサエティー5.0に示された電気工学に関係の深いシステムについて学術活動マッピングを行い、電気学会活動の見える化と、新たな取り組みの可能性の検討を進めた。本年度は、この活動を深化・発展させ、新しい領域での委員会活動の立ち上げや、シンポジウム等を通じた情報発信を進める。

### (9) 広報の充実

経営企画委員会、新進会員活動委員会、広報委員会等が連携して、モバイルサイト構築に合わせた PC サイトの改変の検討・実施、新たに設置した「SNS 運営 WG」を中心に SNS(Facebook、Twitter、インスタグラム、Google +、YouTube 等)を用いたタイムリーな情報発信、メールマガジンの活用、定期的なプレスリリースなどマスコミの活用を含めた効果的な広報活動を推進する。

# (10) 社会への発信力の強化

将来の電力・エネルギーシステムに関する提言などを タイムリーに発信していく。

(11) キャンペーン月間「でんきの月」の発展

キャンペーン月間「でんきの月」に関する広報・啓発 活動を活発に行い、引き続き第8回イベントを検討す る。

# (12) IT システムの整備充実

学会ホームページについて、モバイル対応や情報収集機能の強化など、情報アクセスに関する機能向上を図るべく具体方策を検討・実施する。モバイル対応により、若手会員へのサービス向上に繋げる。

### (13) シニアパワーの活躍

高齢化社会に対応し IEEJ プロフェッショナルの拡大 をはじめとし、シニア層にポイントを絞った事業の創出 や会員減少対策などを引き続き検討する。

以上

# 平成 30 年度収支予算

# 収支予算書集約表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(	畄	欱	エ	Ш	Ι.
(	芈	ш	┰	ш	

科目	一般会計	特別会計	支部会計	内部取引消去	( <u>年位: 〒口/</u> 合計
[積立金・繰越金取崩の部]					
部門積立金収入	13,363				13,363
支部繰越金収入			693		693
旧部門資金収入	4,551				4,551
積立金 繰越金取崩収入計 (a)	17,914	0	693	0	18,607
[事業活動収支の部]					
〔事業活動収入〕					
特定資産運用収入		10,188			10,188
会費•入会金収入	242,911				242,911
事業収入	537,876		9,674		547,550
補助金等収入	18,550		2,231		20,781
雑収入	6,621		24	△ 480	6,165
他会計からの繰入金収入	4,881		26,054	△ 30,935	0
事業活動収入計(b)	810,839	10,188	37,983	△ 31,415	827,595
〔事業活動支出〕					
事業費支出	600,707	4,668	22,416		627,791
管理費	192,892		15,166	△ 480	207,578
他会計への繰入金支出	25,415	5,520		△ 30,935	0
事業活動支出計(c)	819,014	10,188	37,582	△ 31,415	835,369
事業活動収支差額	△ 8,175	0	401	0	△ 7,774
〔投資活動収支の部〕					
〔投資活動収入〕					
特定資産取崩収入	40,087	683			40,770
他会計からの繰入金収入			683	△ 683	0
投資活動収入計(d)	40,087	683	683	△ 683	40,770
〔投資活動支出〕					
特定資産取得支出	26,920				26,920
固定資産取得支出	5,900				5,900
他会計への繰入金支出		683		△ 683	0
投資活動支出計(e)	32,820	683	0	△ 683	32,820
投資活動収支差額	7,267	0	683	0	7,950
[予備費支出] (f)	5,000		1,350		6,350
当期収入合計(g=a+b+d)	868,840	10,871	39,359	△ 32,098	886,972
当期支出合計(h=c+e+f)	856,834	10,871	38,932	△ 32,098	874,539
当期収支差額(i=g−h)	12,006	0	427	0	12,433
前期繰越収支差額	226,358	2,314	47,001		275,673
当期収支正味増減額(i-a)	△ 5,908	0	△ 266	0	△ 6,174
次期繰越収支差額	220,450	2,314	46,735		269,499

**収支予算書総括表** 平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

科目	<u> </u>	般会計	特別	会計	支部	会計	内部〕	取引消去		単位:千円) 合計
〔積立金・繰越金取崩の部〕 部門積立金収入		13,363								13,363
大部繰越金収入 日部門資金収入		4,551				693				693 4,551
積立金・繰越金取崩収入計 (a) [事業活動収支の部]		17,914		0		693		0		18,607
〔事業活動収入〕										_
【特定資産運用収入】 賞金基金利息収入	(	0)	(	10,188] 354	(	0)	[	0)	(	10,188〕 354
桜井基金利息収入				510						510
国際交流基金利息収入 学術振興基金利息収入				1,430 6,757						1,430 6,757
支部会計基金利息収入 公開シンポジウム基金利息収入				755 382						755 382
【会費・入会金収入】	(	242,911]	[	0)	[	0)	Ĺ	0)	ſ	242,911)
上 正員会費収入 准員会員収入		159,289 816								159,289 816
学生員会員収入 入会金収入		10,956 840								10,956 840
事業維持員会費収入	_	71,010	_		_		_		_	71,010
【事業収入】 学会誌収入	(	537,876] 24,525	(	0)	(	9,674]	(	0]	(	547,550〕 24,525
論文誌収入 図書収入		136,330 79,817								136,330 79,817
全国大会収入		39,950								39,950
部門大会収入 研究調査収入		61,843 56,966								61,843 56,966
支部大会収入		,				2,615				2,615
連合大会収入 セミナー・シンポン・ウム収入		85,306				2,292 4,767				2,292 90,073
技術者教育事業収入 電気規格調査収入		6,852 46,287								6,852 46,287
【補助金等収入】	Ĺ	18,550)	[	0)	[	2,231]	(	0)	[	20,781
補助金等収入 【雑収入】	(	18,550 6,621]	[	0)	[	2,231 24]	(	△ 480〕	ĺ	20,781 6,165〕
● 受取利息収入 その他収入		20 6.601				4 20		△ 480		24 6,141
【他会計からの繰入金収入】	(	4,881)	[	0)	[	26,054]	[	△ 30,935〕	[	0)
一般会計からの繰入金収入 特別会計からの繰入金収入		4,881				25,415 639		△ 25,415 △ 5,520		C
事業活動収入計 (b) [事業活動支出]		810,839		10,188		37,983		△ 31,415		827,595
【事業費支出】	(	600,707]	[	4,668〕	[	22,416]	(	0)	ſ	627,791)
学会誌出版費 論文誌出版費		80,231 94,378								80,231 94,378
図書出版費 全国大会費		69,215 28,377								69,215 28,377
部門大会費		58,077								58,077
研究調査委員会費 支部大会費		67,324				3,861				67,324 3,861
連合大会費 セミナー・シンホ・ジ・ウム費		102,006				4,293 12,822				4,293 114,828
技術者教育事業費		25,221				12,022				25,221
電気規格調査費 表彰費		60,295 15,583				1,440				60,295 17,023
賞金基金支出		.,		54 510		,				54 510
桜井基金(海外派遣)補助支出   国際会議交流補助支出				1,430						1,430
学術振興表彰等助成支出 支部会計基金支出				2,235 116						2,235 116
公開シンポジウム基金支出	(	100 0007	ſ	323	ſ	15 1007	ſ	A 400]	ſ	323
【管理費支出】 人件費	Ĺ	192,892] 79,626	Ĺ	0)	Ĺ	15,166)	Ĺ	△ 480〕	Ĺ	207,578) 79,626
事務費事務所費		64,541 48,725				15,166		△ 480		79,227 48,725
【他会計への繰入金支出】	Ĺ	25,415]	Ĺ	5,520)	(	0)	(	△ 30,935]	ĺ	0)
一般会計への繰入金支出 支部会計への繰入金支出		25,415		4,881 639				△ 4,881 △ 26,054		C
事業活動支出計 (c) 事業活動収支差額 (d=b-c)		819,014 △ 8,175		10,188		37,582 401		△ 31,415 0		835,369 Δ 7,774
[投資活動収支の部]		3,170		J		101				/,//¬
【投資活動収入】 【特定資産取崩収入】	(	40,087〕	ſ	683)	[	0]	ſ	0)	(	40,770)
特定資産取崩収入 【他会計からの繰入金収入】	(	40,087 0]	[	683 0]	ſ	683]	ſ	△ 683)	ſ	40,770 0)
特別会計からの繰入金収入	<u> </u>			·		683	`	△ 683		(
投資活動収入計 (e) 〔投資活動支出〕		40,087		683		683		△ 683		40,770
【特定資産取得支出】 特定資産取得支出	(	26,920〕 26,920	(	0)	(	0)	Ĺ	0)	(	26,920) 26,920
【固定資産取得支出】	Ĺ	5,900]	(	0)	[	0)	Ĺ	0)	Ĺ	5,900)
固定資産取得支出   【他会計への繰入金支出】	[	5,900 0]	[	683]	[	0)	(	△ 683]	[	5,900 (0
支部会計への繰入金支出 投資活動支出計 (f)		32,820		683 683		0		△ 683 △ 683		32,820
投資活動収支差額(g=e-f)		7,267		0		683		0		7,950
[予備費支出](h) 当期収支差額(i=a+d+g−h)	$\vdash$	5,000 12,006		0		1,350 427		0		6,350 12,433
前期繰越収支差額		226,358		2,314		47,001		0		275,673
当期収支正味増減額 (i-a)		△ 5,908		0		△ 266		0		△ 6,174
次期繰越収支差額		220,450		2,314		46,735		0		269,499

#### 一般会計 収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで (単位:千円) 前年度予算額 増 減 備考 [積立金・繰越金取崩の部] 部門積立金収入 13.363 3.069 10,294 旧部門資金収入 4,551 4,494 57 積立金 繰越金取崩収入計 (a) 17.914 7,563 10.351 [事業活動収支の部] [事業活動収入] 【会費·入会金収入】 242,911] 243,681] △ 770] ſ [ [ 正員会費収入 158,949 340 159.289 准員会員収入 816 816 0 学生員会員収入 10.956 10.956 0 入会会収入 840 870 △ 30 事業維持員会費収入 【事業収入】 71 010 72 090 A 1 080 523,954] 537.8761 ٢ 13.922] ٢ ٢ 学会誌収入 24.525 25,650 △ 1.125 論文誌収入 136,330 130,607 5,723 図書収入 82,984 △ 3,167 79.817 全国大会収入 39,950 35,890 4,060 部門大会収入 61.843 57,085 4,758 研究調査収入 56.966 56.588 378 10.154 セミナー・シンポッ・ウム収入 85.306 75.152 技術者教育事業収入 6.852 △ 2.332 9.184 電気規格調査収入 46,287 50,814 △ 4,527 △ 4,060] 【補助金等収入】 ſ 18,550) ĺ 22,610) ĺ 補助金等収入 18,550 22,610 △ 4,060 【雑収入】 ĺ 6,621] ĺ 8,401] ĺ △ 1,780] 受取利息収入 20 30 △ 10 6 601 その他収入 8 371 △ 1.770 【他会計からの繰入金収入】 Ĺ ĺ [ 3.509 4.8817 1.372] 3,509 特別会計からの繰入金収入 4.881 1.372 事業活動収入計 (b) 810,839 802.155 8.684 [事業活動支出] 【事業費支出】 ĺ 600,707] 585,973] 14,734] 学会誌出版費 80,231 79,166 1,065 論文誌出版費 94,378 90.275 4.103 図書出版費 69.215 72.110  $\triangle 2.895$ 全国大会费 28.377 29.095 △ 718 部門大会費 58,077 53.322 4,755 研究調査委員会費 67,324 66,185 1,139 102,006 93,205 セミナー・シンポ゚ジウム費 8,801 技術者教育事業費 25,221 24,500 721 電気規格調査費 60.295 64,361 △ 4,066 表彰書 15 583 13.754 1.829 【管理費支出】 ſ 192.892 [ 174.175] ſ 18.717] 人件費 79.626 67.538 12.088 事務費 57,704 6,837 64.541 事務所費 48,725 48,933 △ 208 【他会計への繰入金支出】 支部会計への繰入金支出 25,415) 24,729 ĺ 686) ſ 25,415 24,729 686 事業活動支出計 (c) 819,014 784,877 34,137 事業活動収支差額(d=b-c) △ 8 175 17 278 △ 25.453 [投資活動収支の部] 「投資活動収入〕 【特定資産取崩収入】 40,087] [ 34,367] 5,720] ٢ ٢ OA更新積立預金取崩収入 5,900 5,800 100 寄付金受入特定預金取崩収入 3,900 4,500 △ 600 退職給付引当預金取崩収入 21,836 7,000 14,836 寄付金講義積立預金取崩収入 5 3 7 5 4,385 aan 教育支援資金取崩収入 2 000 410 1 590 本部国際活動資金取崩収入 △ 6.660 6.660 0 記念事業積立預金取崩収入 36 536 △ 500 部門国際活動資金取崩収入 1,000 5,036 △ 4,036 D部門賞金資金取崩収入 40 40 投資活動収入計(e) 40,087 34,367 5,720 [投資活動支出] 【特定資産取得支出】 26,920] [ ٢ 36.787] △ 9,867] 役員退職慰労引当預金取得支出 2.720 2.720 退職給付引当預金取得支出 8.200 8.200 0 9,000 OA更新精立預金取得支出 9.300 △ 300 指定寄付金積立預金取得支出 3,900 4,500 △ 600 寄付講義積立預金取得支出 3,100 2,800 300 本部国際活動資金取得支出 7,414 △ 7,414 国際会議準備金取得支出 n 1,853 △ 1,853 【固定資産取得支出】 5.900] ٢ 5 800 ٢ 100] △ 5,800 什器備品購入支出 0 5,800 ソフトウェア購入支出 5.900 5.900 投資活動支出計 (f) 42,587 32,820 △ 9,767 投資活動収支差額(g=e-f) 7.267 △ 8.220 15.487 [予備費支出] (h) 5,000 5,000 当期収支差額(i=a+d+g-h) 385 前期繰越収支差額 226,358 196.923 29.435 当期収支正味増減額 (i-a) <u>△ 5,908</u> 4.058 △ 9.966 200,981

220 450

19 469

次期繰越収支差額

# 特別会計 収支予算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算	草額	前年度	予算額	増	減	( <u>単122:十円)</u> 備 考
〔事業活動収支の部〕		1 100	13.7 1.2	7 71 12		"74	W. 2
〔事業活動収入〕							
【特定資産運用収入】	[	10,188〕	[	7,647〕	[	2,541]	
賞金基金利息収入		354		324		30	
桜井基金利息収入		510		443		67	
国際交流基金利息収入		1,430		1,300		130	
学術振興基金利息収入		6,757		5,210		1,547	
支部会計基金利息収入		755		343		412	
公開シンポジウム基金利息収入		382		27		355	
事業活動収入計		10,188		7,647		2,541	
〔事業活動支出〕	_				_		
【事業費支出】	(	4,668]	[	3,848〕	[		
賞金基金支出		54		50		4	
桜井基金(海外派遣)補助支出		510		443		67	
国際会議交流補助支出		1,430		1,300		130	
学術振興表彰等助成支出		2,235		1,998		237	
支部会計基金支出		116		53		63	
公開シンポジウム基金支出	_	323	_	4	_	319	
【他会計への繰入金支出】	(	5,520)	(	3,799]	(	1,721)	
一般会計への繰入金支出		4,881		3,509		1,372	
支部会計への繰入金支出		639		290 7,647		349	
事業活動支出計		10,188 0		7,647 0		2,541 0	
事業活動収支差額 〔投資活動収支の部〕		U		- 0		- 0	
[投資活動収入]							
「投資店勤収入」   【特定資産取崩収入】	(	683]	[	1,155)	[	△ 472]	
特定資產取崩収入		683	Ĺ	1,155	Ĺ	$\triangle$ 472	
投資活動収入計		683		1,155		△ 472	
[投資活動支出]		000		1,100		△ 1/2	
【他会計への繰入金支出】	[	683]	[	1,155]	[	△ 472〕	
支部会計への繰入金支出	`	683		1,155		$\triangle$ 472	
投資活動支出計		683		1,155		<u> </u>	
投資活動収支差額		0		0		0	
当期収支差額		0		0		0	
前期繰越収支差額		2,314		2,148		166	
次期繰越収支差額		2,314		2,148		166	

(平成30年4月1日より平成31年3月31日まで)

1		光	東京	北陸	支部別予算東東	盟	HI H	田田	九州
の部引         予算額         前年度予算額         地           の部引         693         370           崩収入計(a)         693         370           崩収入計(a)         693         370           崩収入計(a)         693         370           前収入(b)         2,615         2,769           2,291         2,769         2,769           2,231         2,560         35           2,231         2,560         35           2,231         2,560         35           2,231         2,560         35           2,231         2,560         35           2,231         2,560         35           2,2415         24,729         35           (b)         3,381         4,6867         △           4,293         1,382         △         △           4,293         1,378         △         △           (c)         4,293         1,378         △           (a)         4,293         1,378         △           (c)         4,293         1,378         △           (c)         4,293         1,378         △           (c)         4,1429         △         △	北海道 北海道 323 323				東海	開出	H		九州
A 前収入計 (a) 693 370 A 707 693 370 A 707 693 370 2,615 2,769 11,619 △ 2,221 2,560 2,221 2,560 2,221 2,560 2,231 2,560 A 707 4,811 A 4 4 4 A 4 4 4 4 2,231 2,500 2,2415 2,729 6,90 3,861 4,096 4,293 11,383 △ A 4,293 11,383 △ A 4,293 11,382 △ 1,440 1,317 15,166 15,551 (c) 47429 △ (c) 47429 △ (d) 683 1,155 (d) 683 1,155 (e) 69 (e) 69 693 1,155 (e) 0 0 0 (f) (f) 693 (f)		C				Ī			
4. (4) (4) (6) (6) (5) (4) (5) (4) (5) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7		C							_
前収入計 (a) 693 370 370 370 370 370 370 370 370 370 37		C		173					500
4.767 19.249 0.776 19.249 0.776 0.		Þ	0	173	0	0	0	0	500
4.767 4.861 2.769 2.615 2.769 2.292 11,619 2.292 11,619 2.292 11,619 2.293 2.293 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.2031 2.560 2.2031 2.560 2.2031 2.5039 2.90 2.90 2.90 2.90 2.90 2.90 2.90 2.9									
4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4									
2.292 2.769 2.769 4.40人 4.767 4.861 2.292 11,619 0 4.767 4.861 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.560 2.231 2.260 2.231 2.25019 2.20 2.20 2.20 2.20 2.20 2.20 2.20 2.2	△ 9,575	100	4,397	50	2,330	006	1,085	92	280
4.767 4.861	∆ 154 0	0	2,615	0	0	0	0	0	0
4.767 4.861 2.231 2.560 2 2.231 2.560 2 2.231 2.560 2 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4		0	0	0	1,950	0	0	30	0
2.231 2.560 4 2.231 2.560 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	△ 94	100	1,782	50	380	006	1,085	65	280
2.231 2.560 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	△ 329 0	0	1,431	0	800	0	0	0	0
24 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35 35		0	1,431	0		0	0	0	0
20 20 35 639 639 639 639 639 639 639 639	∆ 15 0	0	2	0	21	-	0	0	0
20 35 (大金収入) 28.054 25.019 58.人金収入 639 290 290 (b) (c) 37.983 46.867 △ 3.861 4.096 4.293 13.383 △ 4.293 13.383 △ 4.293 13.383 △ 4.293 13.383 △ 4.293 13.383 △ 4.293 13.383 △ 4.293 12.822 13.082 4.293 13.383 △ 4.293 12.822 13.082 4.293 13.383 △ 4.293 □ 4.293 13.383 △ 4.293 □ 4.		0	2	0		_	0	0	0
(b) 25.019 25.019 25.019 25.019 25.019 25.019 25.415 24.729 290 290 290 290 290 290 290 290 290 2	∆ 15 0	0	0	0	20	0	0	0	0
(b) 25.415 24.729 290 290 290 290 290 290 290 290 290 2	1,035 2,322	1,659	4,992	1,447	4,433	5,308	2,005	1,340	2,548
(b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c		1,659	4,992	1,447	4,433		1,715	1,340	2,548
(b) 37,983 46,867 2 22,416 31,878 4 3,861 4,096 4,293 13,383 4 12,822 13,082 13,082 15,512 15,512 15,513 15,5	349 0	0	0	0	0	349	290	0	0
大き女出】     22,416     31,878     2,406       3,861     4,096     4,096     4,096       4,293     13,383     2       12,822     13,082     13,082       1,440     1,317     15,166     15,551       (c)     0     0     0       (c)     37,562     47,429     2       (c)     401     △ 562       (c)     401     △ 562       (c)     683     1,155       (e)     683     1,155       (f)     0     0	△ 8,884	1,759	10,822	1,497	7,584	6,209	3,090	1,435	2,828
22,416     31,878     2,2416       3,861     4,096       4,293     13,383     2       12,822     13,082       1,440     1,317       15,166     15,551       (c)     0     0       (d)     37,582     47,429       (d)     401     △ 562       (c)     401     △ 562       (d)     683     1,155       (e)     683     1,155       (e)     683     1,155       (f)     0     0									
4.293     4.096       4.293     13.383     2       12.822     13.082     13.082       1440     1.317     1.516     15.551       (全支出】     0     0     0       (本会支出】     37.582     47.429     2       (本)金収入】     683     1.155       (本)金収入】     683     1.155       (中)     0     0	△ 9,462 1,262	997	8,454	1,240	4,950	1,656	1,605	720	1,532
4.293 13,383 2 12,822 13,082 13,082 14,440 1,317 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166	∆ 235 0	0	3,861	0	0	0	0	0	0
4費     12,822     13,082       1,440     1,317       15,166     15,551       (全支出】     0     0       (金)     37,582     47,429     2       (本)     401     △ 562     2       (大金収入】     683     1,155     1,155       (キ)     683     1,155     1,155       (キ)     0     0     0		131	0	180	2,250	601	190	0	390
(金支出) (440 1,317 1516 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,166 15,551 15,165	260	714	4,503	1,020	2,150	1,055	1,335	605	882
(全支出】	123 153	152	06	40	550	0	80	115	260
(全支出】		761	1,622	430	2,434	5,236	1,455	715	1,796
(e) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	△ 385	761	1,622	430	2,434		1,455	715	1,796
(c) 37.582 47.429 2 47.429 2 47.429 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(c) 37.582 47.429 <u>0.9</u> 9 章 (d=b-c) 401 <u>0.562</u> <u>0.9</u> 8 長入金収入】 683 1,155 <u>0.8</u> 0 (e) 683 1,155 <u>0.8</u> 0 (f) 0 0 0		0	0	0	0	0	0	0	0
(d=b-c) 401 <u>△ 562</u>		1,758	10,076	1,670	7,384	6,892	3,060	1,435	3,328
k入金収入】 683 1.155 △ 1.455 △ 1.455 (e) 683 1.155 △ (f) 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	963 780	1	746	△ 173	200	₩ 683	30	0	△ 500
入金収入】 683 1,155 △ 線入金収入 683 1,155 △ (e) 683 1,155 △ (f) 0 0 0									
A会収入】 683 1155 △ (e) 683 1,155 △ (e) 683 1,155 △ (f) 0 0									
繰入金収入 683 1,155	△ 472 0	0	0	0	0	683	0	0	0
(e) 683 1,155 $\triangle$	472	0	0	0	0	683	0	0	0
0 0		0	0	0	0	683	0	0	0
	0 0	0	0	0	0	0	0	0	0
	△ 472 0	0	0	0	0	683	0	0	0
[予備費支出](h) 1,350 650 700	700 800	0	350	0	200	0	0	0	0
当期収支差額 (≔a+d+g=h)	114 0	1	396	0	0	0	30	0	0

 (注) 前期繰越収支差額
 47,001
 45,106
 1,895
 2,721
 2,639
 17,428
 2,527
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465
 8,465

4,418

4,286

473

 一般社団法人 電気学会
 平成 29 年度 事 業 報 告

 ル 決 算 報 告

 公益目的支出計画実施報告書

 監 査 報 告 書

 平成 30 年度 事 業 計 画

 ル 文 予 算

平成 30 年 5 月 31 日

一般社団法人 電 気 学 会 〒 102-0076 東京都千代田区五番町 6-2 Homat Horizon ビル 8 階 電 話 03-3221-7312 (代表)